

若い芽

令和7年3月号

2025年（令和7年）3月25日発行

令和6年度札幌市立栄町中学校第39回卒業証書授与式 学校長式辞

日差しの温かさと柔らかな風から、ここ北国札幌にも春の息吹が感じられる季節となりました。

今日の佳き日に本校PTA会長 高玉 通廣 様、並びにパートナー校である小学校の校長先生をはじめ地域の皆様の御臨席を賜り、そして御家族の皆様に見守られながら、札幌市立栄町中学校第39回卒業証書授与式を挙行できますことを心から嬉しく思います。

177名の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。教職員一同心よりお祝い申し上げます。皆さんは、数々の思い出を胸に3年間をともに過ごした仲間とともに本校を巣立っていかようとしています。そして今、その証となる卒業証書を一人一人に手渡しました。この卒業証書は、皆さんが義務教育を修了したことを示すとともに、社会に出て活躍するための準備が整ったことを認める極めて重みのあるものです。これまでの努力の証として大切にしてほしいと思います。

思い返しますと、皆さんの義務教育期間の半分近くは感染症の世界的な流行を受けて、様々な活動に制限や制約がある生活でした。そのような中、皆さんは、冷静にしっかりと現実を受け止め、今できること、行うべきことに確実に取り組んでいたことと思います。そして、制限が解除された一昨年の春以降、特にこの3年生になっての一年間、皆さんは普段の学校生活はもちろん、学校祭、合唱コンクールなどの行事、生徒会活動や部活動などにおいて最上級生として手本となる姿を後輩たちにしっかりと示すことができていました。卒業生の皆さんのそのような姿、取組を、私は心から賞賛するとともに誇りに思っております。

さて、皆さんに「夢」はありますか。「夢は見るものではなく、叶えるもの」という言葉は引退したプロ野球選手のイチローさんが語った有名な言葉です。皆さん、「夢」という漢字を頭に思い浮かべてください。この漢字に「人や人の動作をあらわす」「にんべん」をつけると「儂い（はかない）」という文字になります。「夢」という言葉には、明るい未来を示す意味がある一方で実現することが難しい「はかなさ」という意味も含まれるということです。夢の実現がいかに難しいものであるかを象徴しています。

しかし、思い描いた夢が儂く、幻のように消えてなくなるか、イチローさんが語っているように自分のものとして叶えることができるか、それは、その人の努力にかかっています。

先人は「努力に勝る天才なし」と教えています。優れた学者やアーティスト、アスリートも、最初はみんな素人であり、初心者です。大きな成果を残すためには、継続的な努力が必要なのです。たとえ、素晴らしい素質や才能があったとしても、努力なしに開花することはありません。地道な努力こそが、夢の実現のためのたった一つの方法なのです。

また、例えその夢が結果的に儂く叶わないものであったとしても、積み上げた努力と挑戦は、皆さんの人生を豊かなものにしていくのだと思います。卒業生の皆さん、どうか、自分の将来に夢と希望をもち、その実現に向けてあきらめずに努力し挑戦し続ける。そんな人であってほしいと願っています。

結びとなりますが、保護者の皆様、お子様の御卒業あらためまして心よりお祝い申し上げます。義務教育の修了に当たる今日まで、お子様に寄り添い、心の声を聴き、ともに悩み、涙したことも少なからずあったことと思います。また、入学から今日までの3年間に渡りまして、本校にお寄せいただきました温かい御支援と御協力に心から感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業生の皆さん、希望と夢に満ちた巣立ちの時が来ました。健康に十分留意し、栄町中学校の卒業生としての「自信と誇り」を胸に素晴らしい未来を切り拓いてください。皆さんの前途に拓ける「夢ある未来」に期待と思いを馳せ、私の式辞といたします。

令和7年3月14日

札幌市立栄町中学校長 桑原 俊二

卒業生代表の言葉

やわらかな日差しがそそぎ、春の訪れを感じる季節となりました。私たちは今日、無事に卒業式を迎えることができ、嬉しい気持ちでいっぱいです。私たちのために式を開いてくださりありがとうございます。また、御出席いただいた御来賓、保護者の皆様、教職員の方々、在校生の皆さんに心から感謝申し上げます。

3年前、新しい制服に袖を通し、新しい環境への期待と不安で胸をいっぱいにして入学式に臨んだことがまるで昨日のこのように思い出されます。この3年間を振り返り、特に印象に残っているのが学校祭です。1年生のときは学年ごとの開催で大きな声を出すことができない、少し寂しい学校祭でした。2年生からは、全学年が体育館に集まることができて楽しかったです。先輩方の学校祭に対する姿勢から多くのことを学び、3年生になるための目標を示してもらうことができました。今年は保護者の方々にも観覧していただけることになり、嬉しい気持ちと共に緊張感や責任感を感じました。昨年反省を生かして、準備活動にも熱を入れて取り組みました。私のクラスは学校祭準備活動期間中に学級閉鎖になってしまいました。準備活動の期間がとても少ない中でもよりよいものを作ろうと、相談しながら活動しました。焦ってしまい、作ったものが共有されず、全体を統一感のある作品に仕上げるのに苦労しました。でも、みんなで協力してこのステージバックの壁画を前日には完成させることができました。学校祭で力を合わせることの難しさと楽しさを体験しました。もうひとつ、忘れられないのは、修学旅行です。1年生の校外学習では、しっかりと準備をしたはずなのに、札幌市内でたくさんの班が迷子になってしまいました。修学旅行は2年生で自主研修をした小樽市内よりも広い範囲で、知らない場所、神奈川県鎌倉での自主研修です。大丈夫か心配でした。でも2年間の経験を生かして地図を確認し、班全員で協力して自主研修を成功させることができました。修学旅行で自分たちの成長を実感することができました。在校生の皆さん、中学校生活は本当にあっという間です。1日1日を大切に、そして後悔のないように過ごしてください。何かに挑戦するときには全力で取り組むと結果は返ってくるはずですよ。頑張ってください。いつも私たちが楽しく学校生活を送ることができるようにしてくださった教職員の皆様、私たちに良いことがあれば一緒に喜び、私たちが間違っただけをした時には、厳しく接していただきました。今までありがとうございました。保護者の皆様、どんな時にも温かく私達を支え続けてくださいました。心配をかけたこともあると思います。特に受験生として過ごしたこの1年は、そばで見守ってくれることのありがたさを強く感じました。いままで本当にありがとうございました。最後に、教職員の皆様と在校生の皆さんの更なる御活躍と、栄町中学校が今後更に発展していくことを願い、卒業生代表の言葉とさせていただきます。

転出する教職員

学校長	桑原 俊二	転勤
主幹教諭 (社会科)	前 研治	転勤
国語科	坪田 世梨香	転勤
	吉田 圭子	転勤
社会科	竹山 将史	転勤
理科	鈴間 優大	転勤
	見付 雅史	転勤
美術科	佐藤千章	退職
体育科	藤本 総	転勤
	高橋美湖	転勤
英語科	大和田 千里	転勤
技術科	延堂 幸視	転勤
家庭科	小川 佳奈	転勤
特別支援	宮武 浩之	退職
	中田 貴人	転勤
	上村 差知	転勤
	大久保 秀哉	転勤
校務助手	諸橋 智恵	転勤

お知らせ

○春季休業期間（3月26日～4月7日）は、規定の勤務時間での対応となります。

職員勤務時間 8：15～

16：45（平日）

※勤務時間外については転送電話を設定いたします。

○始業式は4月8日（火）です。上靴を持って旧学級に入ってください。

困ったときの外部機構連絡先

- ・北海道警察少年相談 0120-677-110
- ・児童相談所 622-8630
- ・虐待対応ダイヤル 189
- ・24時間子供SOSダイヤル 0120-0-78310

